

## 令和3年度 中央図書館指定管理運営業務評価票

施設名称：大阪府立中央図書館	指定管理者：株式会社長谷工コミュニティ・株式会社大阪共立・株式会社図書館流通センター	指定期間：令和2年4月1日～令和8年3月31日	所管課：中央図書館・地域教育振興課
----------------	--------------------------------------------	-------------------------	-------------------

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者自己評価		施設所管課の評価		評価委員の 指摘・提言
		評価内容	評価 S～C	評価内容	基準こと の評価 S～C	
I 提案の 履行状況に関する項目	(1) 施設の設置目的及び 管理運営方針の理解	○社会教育施設としての設置目的及び管理運営方針に沿った運営が実施されているか				
	(2) 平等な利用を図るた めの具体的手法・効果	①平等利用を確保するための基本方針に沿った取組みがなされているか				
		②高齢者、障がい者、外国人等に対して利用援助の方針に沿った取組みがなされているか				
	(3) 利用者の増加を図る ための具体的手法・効果	①提案された広報計画に沿った広報が実施されているか				
		②ホール及び会議室の目標利用率・目標収入額の達成のための取組みが適切に実施されているか (参考指標…入館者数)				
		・令和3年度ホール利用率 目標：30.15% (令和2年度実績：29.4%)				
		・令和3年度大会議室利用率 目標：45.94% (令和2年度実績：45.5%)				
		・令和3年度中会議室利用率 目標：50.72% (令和2年度実績：50.2%)				
		・令和3年度小会議室利用率 目標：46.23% (令和2年度実績：45.8%)				
		・令和3年度収入額 目標：7,128千円 (令和2年度実績：5,610千円)				
		③駐車場の目標収入額の達成のための取組みが適切に実施されているか				
	・令和3年度駐車場利用数 目標：31,961台 (令和2年度実績：24,535台)					
	・令和3年度収入額 目標：7,000千円 (令和2年度実績：5,307千円)					
	(4) サービスの向上を図 るための具体的手法・効果	①カフェスペースの運営について、図書館の利用者ニーズに対応した取組みが適切に実施されているか				
②ホール、会議室、エントランス及び玄関広場を活用したイベントや展示等の指定事業について適切で効果的な取組みが実施されているか						
・実施回数 令和3年度目標：14回 (令和2年度実績：14回)						
・参加者人数 令和3年度目標：194人 (令和2年度実績：194人)						

		・参加者満足度調査を行い、分析結果をフィードバックしているか					
		③図書館との密接な連携・協力体制のもと、利用者サービスの向上に向けた取組みが実施されているか					
	(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	①維持管理の内容は効果的で適切か					
		②施設管理に関する経費の計上は適切か					
		③施設の規模・機能にみあった管理体制・危機管理体制が確保されているか					
	(6) 府施策との整合	○右記の提案の実施状況は適切か	・府・公益事業協力等				
			・行政の福祉化				
			・環境問題への取組み				
			・府民、NPOとの協働				
	IIさらなるサービスの向上に関する事項	(1) 利用者満足度調査等	利用者満足度調査を実施し、分析結果のフィードバックをしているか				
(2) その他創意工夫		①その他サービス向上につながる取組み、創意工夫が行われているか					
		②積極的な自主事業が行われているか					
		・実施回数 令和3年度目標：23回 (令和2年度実績：23回)					
		・参加者人数 令和3年度目標：613人 (令和2年度実績：614人)					
	・参加者満足度調査を行い、分析結果をフィードバックしているか						
III適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目	(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①収支計画の妥当性及び事業計画・管理体制計画との整合性は図られているか					
		②収入確保や管理コスト削減の取組みは実施されているか					
		③収支は計画どおり行われているか					
	(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	①事業実施に必要な人員数の確保・配置従事者への管理監督体制・責任体制は適切か					
		②年間研修計画を策定し、適切な研修体制の整備、職員の指導育成を行っているか					
	(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	①運営基盤として、事業者の経営状況は適正か					
		②運営基盤として、事業者の財務状況は適正か					

年度評価：

○各評価項目についてS、A、B、Cの4段階で評価をする。

S（優良）…求める水準を大きく上回り、素晴らしい貢献や優れた成果があった  
A（良好）…求める水準を上回っている、または満たしている  
B（ほぼ良好）…求める水準をほぼ満たしているが、一部改良してほしい点がある  
C（要改善）…求める水準を満たしていない

○評価項目に複数の評価基準があるものについては、各評価基準につき、

S（4点）、A（3点）、B（2点）、C（1点）として評価基準の平均値により評価項目の評価を、  
平均得点が【 4～3.5 …S / 3.4～2.5 …A / 2.4～1.5 …B / 1.4～1 …C 】として決定する。

○評価基準に具体的な数値が設定されているものについて

①目標値が設定されているもの

【 達成度  $\geq$  120% …4 / 120%  $>$  達成度  $\geq$  100% …3 / 100%  $>$  達成度  $\geq$  80% …2 / 80%  $>$  達成度 …1 】

（第2回評価委員会実施時は、人数・金額を目標値とする基準は原則として、評価時点の実績数値を年間あたりに換算した数値で評価する。

ただし、イベント等事業に関しては、実施回数は既実施事業数に実施予定事業数を加えた数値で評価し、各実施予定事業の定員に既実施事業の平均参加割合を掛けた数を加えた数値で評価する。）

②参加者満足度調査

4…満足度調査を行い、その分析結果をフィードバックしている。かつ、フィードバックした成果、その後の事業の参加者の増加や参加者調査の肯定的な回答の割合が明らかに増加する等の成果があった。

3…満足度調査を行い、その分析結果を適切にフィードバックしている。

2…満足度調査をしている。結果を分析している。

1…満足度調査を行っていない。満足度調査は行っているが、分析していない。

とし、点数の平均を計算し、平均得点が【 4～3.5 …S / 3.4～2.5 …A / 2.4～1.5 …B / 1.4～1 …C 】として評価を決定する。